

## 目 次

はしがき——いまなぜ“提言”なのか 3

### 序章 労働と生活の現状とその原因・背景 9

- 1 生活の現状——破壊される雇用と社会保障 10
- 2 “雇用破壊”と“社会保障破壊”の原因・背景 19
- 3 安倍政権の登場と憲法改悪の危険 22

|                                    |
|------------------------------------|
| <h2>第1部 安定した良質の雇用実現にむけての提言 25</h2> |
|------------------------------------|

### 第1章 悪化する雇用と“提言”の持つ意義 25

- 1 深刻化する雇用情勢 25
- 2 賃金引き下げ、長時間・過密労働と健康破壊 27
- 3 賃下げ・雇用破壊の状態悪化は労働意欲を後退させる 28
- 4 雇用条件改善とディーセントワーク確立 30

### 第2章 “雇用破壊”から“安定した雇用”へ 32

- 1 「安定した雇用」の課題 33
- 2 「正規雇用が当たり前」のルール確立 35
- 3 正規雇用として働く場の創出へ 38
- 4 解雇規制ルールの確立 44
- 5 「均等待遇の原則」の確立 48
- 6 失業者の仕事確保・就労支援にむけて 51

### 第3章 「デフレ不況」脱却の賃金政策 54

- 1 改革の理念と雇用条件としての賃金政策 54
- 2 賃金政策と経済政策の課題 56
- 3 賃金闘争の課題 58
- 4 最低賃金制の抜本改革の課題 59
- 5 「社会の再生産を可能とする賃金」保障の課題 62

- 6 男女平等・均等待遇を実現する課題 63
- 7 非正規労働者の均等待遇・賃金改善の課題 64
- 8 労働力の再生産を円滑にさせる法・制度改革の課題 67
- 9 グローバル化と賃金政策における課題と国際連帯 68

#### 第4章 労働時間短縮の課題と政策の基本 69

- 1 労働時間の推移と現状 69
- 2 労働時間短縮とジェンダー平等の課題 71
- 3 労働時間短縮のための提言 72

#### 第5章 心身の健康を守る 81

- 1 労働者の健康と職場 81
- 2 労働安全衛生の確立と労働組合 82
- 3 心身の健康を守るための政策課題 84
- 4 労働者の心身の健康を守るための提言 86

|                            |
|----------------------------|
| <h2>第2部 社会保障再生への提言 87</h2> |
|----------------------------|

#### 第6章 社会保障改革をめぐる対決軸 87

- 1 社会保障改革の原則——平和的生存権、応能負担、必要に応じた給付 87
- 2 平和的生存権の公然たる否定——自民党改憲草案 91
- 3 社会保障再生の緊急性とその背景 93
- 4 税・社会保障の一体改悪を実施させないたたかい 96

#### 第7章 「人間に値する生活」を保障するための具体的提言 100

- 1 ワーキングプア（働く貧困層）の所得底上げ、権利保障のための緊急対策 100
- 2 低所得高齢者の年金底上げの課題 102
- 3 誰もが安心して医療・介護を受けられるための緊急対策 105
- 4 生活保護の給付水準を引き上げる課題 107

- 5 障害者自立支援法廃止と総合福祉法の制定 109
- 6 高齢者、障害者などの無料・低額の公共交通機関を整備・拡充する 110
- 7 公営住宅を計画的に整備する課題 110
- 8 「社会保障制度審議会」(仮称)の再設置 110

## 第8章 “安定した雇用” 実現こそ財源確保の確かな道 111

- 1 財源問題についての基本的見地 111
- 2 “安定した雇用” 実現の「4つの施策」 112
- 3 「4つの施策」と社会保障の財源 117
- 4 国の行財政のあり方の抜本見直しによる財源の確立 121

## 終章 “提言” 実現の条件と展望、労働組合の課題 125

- 1 「ルールある経済・社会」を追求する世界の流れ 125
- 2 「人間的な労働と生活の新たな構築」にむけて 129

### [column]

- ディーセントワークとは 4
- 労働者を犠牲に利益を伸ばす「新型経営」 29
- ジェンダー平等の実現 49
- 増大するワーキングプアと低下する労働者の賃金 61
- 日本の労働時間は世界標準か？ 73
- 広がる貧困と憲法25条 95